



日本共産党和歌山市議員

南畑 さち代



奥村県議・森下市議・南畑市議・坂口市議・姫田市議・中村市議・井本市議

日本共産党

こんにちはは市会議員
南畑さち代です

No.92
2020.08.30
連絡先
453-7758

終戦記念日 街頭宣伝

8月15日、75年目となる終戦記念日に、和歌山県議の奥村規子さんと市議6名が南海市駅前で合同の宣伝を行いました。その後、暑さに負けじと奥村のり子県議と一緒に中

村朝人市議、坂口多美子市議、私南畑さち代の地域でも宣伝を実施しました。私は平井のJA前で行いました。通行中の方から励ましの声をかけて頂きました。

今年の終戦記念日は、世界と日本で新型コロナウイルスが猛威をふるう中で迎えました。多くの国民が「戦争にもつながらる軍事費を削ってコロナ対策に」と願っているにもかかわらず、安倍政権は今年も軍事費は過去最高を更新し憲法九条改憲に執念を燃やしています。日本共産党はコロナ禍のもとで国民の健康と生活を守ると共に九条を活かした平和な日本を築くために全力を尽くします。

市会議員団の日々の活動をホームページやツイッターでお伝えしています。パソコン・スマホで「日本共産党和歌山市議団」と検索して、ご覧ください。

市駅を「バリアフリー化」一番に!

7月18日、「和歌山視覚障害者の生活を守る会」が呼びかけた南海和歌山市駅のウォッシングに参加しました。

その後、「守る会」は7月27日、市長に要望書を提出され、回答について報告頂きましたので一部を紹介します。

要望① 主要県道新和歌浦梅原線の横断歩道から真っ直ぐ改札口にいけるよう、エスコートゾーン及び点字ブロックを直線上に敷設すること。

要望② トイレや改札横にある触地図の所在が分るよう、音声案内を設置すること。

要望③ セブンイレブンの東西の横断歩道に関して、点字ブロック並びにエスコートゾーンを分りやすく敷設し直すこと。また、白杖に反応する音声案内を修理すること。

回答① その動線には照明ポール、ベンチを設置予定だが、歩行訓練師の方に相談する。

回答② 南海電鉄からの回答として「現在、音声案内の計画はない。今後の参考にすると市が聞いているとの回

答でしたので、「守る会」として「直接南海との話し合いの場を設けて欲しい」と要望しました。

回答③ 県道のため、県や警察に伝え協議する。(市は、音声案内装置の存在は知らないようでした。)

新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組む 介護事業所へ支援を!



南畑市議・坂口市議

8月14日(金)、和歌山県医療労働組合連合会(医労連)と和歌山県民主医療機関

*ウォッシングに同行して、視覚障害の方にとって要望書の提出や質疑が大変なエネルギーがいる事だと思えました。当日、歩行訓練師の方が同行されたことや駅前立体地図を作成、準備されたことも初めて経験しました。もっと多くの方が力を合わせれば市駅を「バリアフリー化」一番の駅に「出来るのではないか」と思いました。

連合会(医労連)が連名で「新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組む介護事業所への支援の要請書」を和歌山市に提出しました。

はじめに医労連が、6月に実施したアンケートで事業所の減収や衛生材料の不足などの声が寄せられたことを紹介したあと以下の概要で懇談しました。

◇厚労省が減収対策として、介護保険のデイサービスやショートステイ事業者に介護報酬の上乗せを利用者の同意を前提に認める「特例措置」は、「利用者に筋違いの負担増を強いることになる」など問題があり、利用者負担分は市独自に補助すること。◇衛生材

近頃の葛城二十八宿ゆからの行者堂が

料の手指アルコール、非接触型体温計などの確保をすること。◇介護事業所で感染が発生したが、感染情報は迅速に周知すること、対応について適切な指導を行うことなど、切実な実態を伝え

和泉山脈の「葛城修験」の日本遺産認定について前号のニュースの続きです。葛城修験は里人とともに守り伝える修験道はじまりの地とされており、そこに暮らす人々との深い繋がりが重視されています。



私の住んでいる善明寺に”行者前“というバス停があります。バス停から北に行く”四の宿 行者堂“とセンター住宅地図に掲載されています。そういえばいつも通る道に”四ノ宿行者尊“の案内表示があることに気がつき、

市への支援を求めました。

市は国・県まかせの返答ばかりでしたが、最後は再度検討するとの返答を得ました。党市議団の坂口多美子議員と私、南畑が同席しました。

やっと8月8日友人と一緒にいきました。

祠には確かに修験に関わる「修験道祖 四の宿役行者 尊神変大菩薩広大慈恵」と記されてある。碑伝に鉄山氏が令和元年九月十九日とありました。地元では現在まで

相談所コーナー

介護認定について

～Hさんの体験談～

66歳のHさんが橈骨(とうこつ)神経麻痺で手術し、入院中の医大で介護の認定調査を受けました。結果は”自立“でした。左手に麻痺があり顔を洗うことや食器を洗うなどの

時は手から水が漏れて洗えず、時には茶碗を割ってしまいます。生協病院の介護支援センターのMさんに相談すると、後日自宅に再調査に来てくれ、その結果、要支援1の認定となりました。一人住まいのHさんは、「認定に納得がいけないときはあきらめず相談を」と話されました。

核兵器禁止条約発効へのうねりを

毎年、旧正月から7以内の日曜日に餅まきなどの行事を営々と引き継いでこられました。歴史の流れをこんな身近に感じたことがありません。和泉山脈の自然を一層心をこめて守っていかなくてはと強く思っています。

8月6日、JR

和歌山駅で実施された核兵器廃絶国際署名行動に参加しました。何人もの方が「平和式典は首相の言葉よりも子ども達の発言の方がずっと

無料生活法律相談

日時：9月4日(金)午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
(変更の場合あり)
申込：南畑さち代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑さち代生活相談所
TEL. 073-453-3418、453-7758 (自宅)
和歌山市善明寺411-4
相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは、南畑さち代まで
TEL. 073-435-1113 (日本共産党市議団室直通)

2020年7月の法律・生活相談件数
生活保護：2件 防災：1件 空き家：1件
法律：1件 メガソーラー：1件 その他：3件

安倍首相は、世界で唯一の戦争による被爆国の首相として核兵器廃絶の先頭に立つべきであるにもかかわらず、平和式典で核兵器禁止条約に一言も触れず「立場の異なる

よかった」「安倍さんは代わってもらわな」と話されました。日本共産党の志位和夫委員長は8月9日、「核兵器のない世界」の実現に向け、「核兵器禁止条約」に参加する新しい政府をつくる決意を表明しました。核兵器禁止条約の発効に必要な批准国数(50カ国)はあと6カ国(8月15日時点)です。

国々の橋渡しに努める」と繰り返しました。市民と野党の共闘で安倍政治を終わらせ、核兵器禁止条約に参加する新しい政府の思いを一層強く感じた一日となりました。

